



[本社] 株式会社はっぴ〜ライフ

〒180-0002

東京都武蔵野市吉祥寺東町1-17-18三井ビル1F

tel:0422-28-5051 hp:http://hl.tokyo.com

[吉祥寺事業所]

はっぴ〜ライフ吉祥寺

(1373301587)

武蔵野市吉祥寺東町1-17-18三井ビル1F

tel:0422-28-5061

[新小金井事業所]

はっぴ〜ライフ新小金井

(1374100947)

小金井市東町4-10-16

tel:042-386-6381



今 月 の お 知 ら せ

平成27年1月5日(月) 19:00~

TBSテレビ「私の何がイケないの?」に代表の辻川が出演します。
お時間ある方はご覧になってください!!

ちよと

知ッ得☆マメ知識

寒い季節になると、虚血性心疾患の方が増える傾向があります。寒くなると血管が収縮して血圧が上がるだけではなく、心臓の負担が増えます。特に糖尿病や高血圧、高血圧などの動脈硬化を進める病気を併発として持ち、タバコを吸う方は要注意です。それまで全く自覚症状が無くとも、睡かい所から十分な防寒をせず急に寒い所に行く、心臓への負担が急激に増えることで、虚血性心疾患である狭心症や心筋梗塞を発症しやすくなるのです。逆に寒い脱衣所や風呂場で裸になり、身体が冷えた状態で急に熱い浴槽に入ると、これも急激に血圧の上昇と下降が起こり心臓の負担が増えます。その為、入浴中に心臓の発作を起こすという事故につながります。暖かいところから寒いところに行く時は十分な防寒をすること、入浴前には脱衣所や浴室を暖かくして、入浴前に身体に

お湯をかけて慣らすなどしてから入浴することなどに留意して、極力心臓の負担を減らすようにしましょう☆



11月下旬に北九州に私が主催する経営者研究会の講義の為に訪れてきました。門司港はレトロ感があふれる地域でした。

また、12月5日~6日まで岩手県洋野町へ研修の講師としていきました。既に雪景色でした。日本は島国ですが、地域によって気温も違い方もあります。外人からみると同じ小さな島でここまで地域性があるというのは驚くことだそうです。確かに世界地図で見ると小さな島国です。その中で地域の文化が継承されてきたこと。私達も介護の仕事を通して利用者様から学ぶ事を後進に伝えていくことも使命だと感じました。

写真は壱ノ浦と三沢空港です。



株式会社はっぴ〜ライフ 代表 辻川 史

先生に訊く

小濱道博

コラム第七回

2015年は介護報酬改定の年。
早めの情報収集を。

来年4月は3年に一度の介護報酬改定の年です。その審議も終盤に入り、12月初めには方向性が確定。12月末~1月中旬には新しい報酬単位が示されます。そのような既定路線の中で、今回は2つの想定外の手帳が起こりました。

一つは財務省の横やりによる報酬6%減額の議論。もう一つは、来年10月の消費税増税2%の延期と選挙です。特に消費税増税2%の延期については、これを財源に介護職員処遇改善加算の延長と加算率アップが予定されていたため、影響が避けられないようです。財源不足を理由とした財務省主導の大幅な介護報酬カットも現実味を帯びてきました。これまでに出来た介護報酬改定の方向性では、高齢者住宅への締め付け強化。外部からの訪問介護サービスで利用者20人以上の利用者が居る場合の同一建物減算の適用、デイサービスの小規模報酬の大幅減額。デイ利用で送迎の無い利用者への報酬減額。

訪問介護の身体0算定の要件強化。デイケアの短期利用型への転換などが矢張り早くは打ち出されて居ます。報酬アップが期待できるのは訪問看護くらいとなっています。

予防サービスにおいては、予防にはレスパイトケアの概念は無いとの認識から、報酬の規準となる提供時間の短縮とそれに伴う報酬減額が行われそうです。予防サービスの報酬が規準となる市町村の総合事業の報酬への影響も懸念されます。

早期の情報収集と対策が急務となっています。



小濱道博

小浜介護経営事務所 代表

NKK 一般社団法人日本介護経営研究会

専務理事

C-SR 一般社団法人介護経営研究会 専務理事

一般社団法人介護事業推進協会 理事

C-MAS 介護事業経営研究会 顧問 ほか



歌に体操に活気あふれる11月 でした!!

寒さに負けずに11月も元気に過ごした皆様です☆毎日の機能体操でしっかりと体を動かしています。また、12月にむけのミニクリスマスツリー作り、どんどこ進んでいます!!シアターカラオケでは、懐かしの曲で盛り上がっています。素敵な声が響いています☆楽しい1年がまた迎えられるように元気に過ごしていきたいと思います☆



吉祥寺事業所 tel 0422-28-5061 fax 0422-28-5062



秋を感じながら、元気に活動 されました☆

紅葉が楽しみなこの時期、皆様で「もみじ」のクラフトを行いました!!本物そっくりなもみじに、「きれいだねえ!!」と声飛び交っていました☆皆様の元気いっぱいな笑い声に、寒さも忘れる11月となりました☆今年も残りわずか、皆様との貴重な時間を大切に過ごしていきたいと思います☆



みたか事業所 tel 0422-72-2881 fax 0422-72-2882



皆様の作品で、クリスマスムード 高まっています☆

クラフトでは、クリスマスに向けていつも以上に皆様気合十分です!!
サンタクロースと雪だるまの張り子の飾りやモコモコクリスマスなど次々と大作が出来上がっています! 12月のクリスマス会は、賑やかにしようです!!



新小金井事業所 tel 042-386-6881 fax 042-386-6882

連載コラム! 町亞聖さん 「当事者が語る時代に・・・」

若年性認知症の当事者が立ち上げた団体が先日大会を開きました。

“その人らしく”や“尊厳を守る”いすの言葉も主眼は介護をする側、本当の意味での当事者の声ではありませんでした。「認知症になっても共に暮らすために」経験している者にしか分からない切実な想いがよくよく本人の言葉で語られる時代が来たのです。認知症になると「何も分からなくなる、何もできない」と多くの方が誤解しているのではないのでしょうか。例えば歩行、服、着脱、妄想、不潔行為など認知症に伴う一連の行為は「問題行動」と書かれています。でも考えみてください。「問題」と受け止めるのは介護する側で、本人は問題を起こそうと思っただけではないのです。昨日できたことが今日できなくなると、失敗を重ねることで本人は精神的に大きな不安と恐怖を感じています。そんな状況の中で周囲から注意されたり怒られたり、また押し付けられたりすることでさらに混乱してしまい「問題」として対応しているのには分からないことも「怒られていること」は理解できるのです。冷静にそして適切に対応するために認知症に伴うどんな行動があらわれるのかわかりにくい側面が理解しておくことは当然のことではないでしょうか。「普段使っていた手の手帳に家族の名前が書いてあり、何度も自分の名前をそった跡があった」認知症の母親を介護していた男性の取材で聞いたエピソードです。自分の名前さえ忘れてゆく恐怖、どんな想いで自分の名前をそったのでしょうか。認知症の初期の後では「自分自身が壊れていく」ということを本人は自覚しています。大切なものはどこかへいってしまうかもしれないと、どこと専門家は指摘します。実は父の介護を通じて私はこの二つを学びました。母がやっていたのだ、思ひにくけれど父はよく人に食事をせすとお話ばかり放っていました。その父が「ウェルニッゲ・コルガフ 産業界」という名に、これもまた病院とつながっていたのです。この病院はアルコール依存と薬物中毒が重なることで脳が萎縮してしまうもので、せん妄、錯乱、

作務など一時は精神病院に入院しなければならぬほど状態でした。せん妄と錯乱は次第に収まってきましたが、「病院」に関しては最期まで頼っていました。入院している父のお見舞いに行ったら父のことが、とても申し訳なさそうに「お姉ちゃんさん」と謝ります。「どうしたの?」と聞くとお姉ちゃんの名前で借金をしたと言っているのです。当時、再発も麻痺していたので1人で外出できない父にそんなことが絶対に出来るわけはありません。「それはウソでしょ」と否定することは簡単ですが作務はこの病気の大きな特徴、受け止めてあげてくださいと先から書かれていたので「二度としない」と謝るようにしました。恐らく長い、私に経済的な負担をかけてきたことを申ししめていた父の心の奥底にある思いが、決して「不孝」ではない「会員に属した若年性認知症の佐藤理都さんの言葉です。佐藤さん達の勇気に応えるために、そして認知症の方の「生きる力」「生きる希望」を変えるためにこそその声に全員が耳を傾けて欲しいと思います。認知症と認知症になるかもしれない予備軍を含めるとその人数は約900万人、会見をした佐藤さん達は特別な存在ではないのです。誰もが認知症になる可能性がある中で、認知症と正面から向き合ってきた「なごらどうしよう」というすらに不安を抱くのではなく認知症を知ることから始めてみませんか。

